

# Jazz Interview vol.83

## ★カナダが誇る女性ジャズ・ヴォーカリスト&ソングライター★ アンジェラ・バーブルージュ 【Angela Verbrugge】



グラミー賞受賞者ノミネート者、ジュノ賞受賞者ノミネート者、カナダ勲章受章者であり、著名なアーティストたちとも共演を重ねているカナダ出身のジャズ・ヴォーカリスト&ソングライター、アンジェラ・バーブルージュ。

2021年からツアー活動を開始し、カナダ全土のほか、イギリス、フランス、ルクセンブルク、ドイツ、台湾、日本を巡り、この秋にはイタリアとアジア公演を行なった。この10月に名高いニューヨークのピアニスト、レイ・ギャロンと共に新作『イン・ザ・ワンダー・オブ・ザ・ナイト』をリリースしたばかりのアンジェラとのインタビューが実現！

新作お披露目の来日ツアーも待ち遠しい！

【2025年11月取材・文：鯉登正之】

♪ この秋のイタリアとアジアでのコンサートツアーはいかがでしたか？

今秋はカナダだけでなく、イタリア8都市、台湾、香港、中国、そしてソウルと、国際的な観客とつながる機会に恵まれました。この音楽への深い愛が、世界のジャズコミュニティをつなぐ特別な糸のように感じられます。ジャズの世界にいと、見知らぬ街も新しい友人を作る場所になります。旅の計画という挑戦も楽しんでますし、新しい食べ物を試すのも、世界的美しさを体験するのも大好きです。

♪ 10月にリリースされた最新アルバム『イン・ザ・ワンダー・オブ・ザ・ナイト』を聴きました。夜や月をテーマに、あなたのヴォーカルとピアノの化学反応が美しいデュオ作品ですね。このアルバムはあなたのキャリアにおいてどんな意味を持ちますか？

お聴きいただき、本当にありがとうございます。そう言っただけで光栄です。作品ごとに膨大な作業や思考、そして丁寧なケアが詰まっています。このアルバムは、私のより“脆く、ありのままの部分”を表しています。ピアノだけを伴奏にした豊かな響きや幅広い表現、リズムの可能性、そして高品質のスタジオ録音により、歌手の息遣いや子音・母音の一つ一

つまでが、リズムや物語、感情としてくっきりと伝わります。私が若い頃に大きな影響を受けた曲のアレンジと、新しい作品や歌詞を通して、アーティストとしての私の進化を描きかけたのです。

♪ あなたのオリジナル曲「Paradise Defined」「I'm A Cliché」も素晴らしいです。普段どのように作曲されるのですか？

わあ、本当にありがとうございます。以前は、機内にWi-Fiがなかった頃はフライト中によく歌詞を書いていました。でも今はネットがあるのでつい気が散ってしまいます。なので、バンクーバー島の自宅の音楽オフィスにこもり、キーボードと向き合うのが一番です。自分で設定したパラメータの中で自分を追い込み、草稿ができるまでやり切ります。食事を抜いたり徹夜したりすることもあります。コード進行や歌詞のフレーズなど、何か一つの要素から始めないと、可能性が多すぎて圧倒されてしまうんです。

♪ ケイティ・ジョージとの共作「I'm 99% Sure of You」、ケン・タカタとの共作「On a Night Such as This」もお気に入りですが、この2曲の共作はどのように実現したのですか？



ケイティは2022年のアルバム『ラヴ・フォー・コノサーズ』のアソシエイト・プロデューサーを務めてくれました。モンリオールで修士課程を終える間、オンラインで制作の手伝いをしてくれたのです。彼女は記譜がとて得意で、これはヴォーカリストの中では珍しいことです。ケン・タカタさんとはコロナ禍にFacebookで彼がジャズ・スタンダードについて興味深い投稿をしていたのを見て知り合いました。彼が送ってくれた2曲のうち、この曲がアーヴィング・バーリンのような雰囲気を持っていたので歌詞をつけました。メロディやコードを私の歌詞や解釈に合うように変更することも快く許可してくれました。作曲家によっては厳格な人もいますが、私たちは自由な協働の方が良い結果を生むと感じました。実はまだ一度も対面したことがありません。

♪ 昨年の日本ツアーも大成功でしたが、新作を記念した再来日ツアーの予定はありますか？ また、日本への印象や思い出も聞かせて下さい。

2024年10月には、ミュージックポケットの藤井正和さんとドラマの菅原高志さんのおかげで、北九州から東京まで10公演の日本ツアーを行いました。2023年にも、山口泰一郎さんのサポートで松本茜さんをはじめ、素晴らしい日本のジャズミュージシャンとツアーをしました。出会った日本の方々は皆、とても親切で勤勉で思いやりがありました。ミュージシャンは準備万端で創造的。交通は静かで効率的、そして食べ物は格別です。独自の文化を大切にする姿勢を尊敬しています。特に心に残っているのは、東京の在日カナダ大使館のオスカー・ピーターソン・シアター

で国際女性デーのコンサートをしたことです。日本のジャズ・フェスティバルや、いつか美しいコトクラブのような場所でも演奏できたらと思っています。

♪ 新作で共演しているレイ・ギャロンについて教えてください。

レイ・ギャロンはジャズ界の巨人であり、その独創的なサウンド、達人のようなアプローチ、明晰な語彙、繊細な解釈はもっと評価されるべきです。彼はニューヨークのロウアー・マンハッタンで生まれ、人生のすべてをニューヨークのプロジャズミュージシャンとして過ごしてきました。ハンク・ジョーンズ、ジャッキー・バイアード、ジョン・ルイスに直接学び、ロン・カーターやライオネル・ハンプトンをはじめ数多くの偉大なミュージシャンと共演・録音しています。アーマッド・ジャマル、ケニー・バロン、シーラ・ジョーダン、そして著名ジャーナリストたちの素晴らしい評価もあります。彼のトリオ作品では、制作と運営の面で私も関わらせていただきました。共演するのが大好きで、彼は音楽にとて大きなものをもたらしてくれます。

♪ 新作で特に聴いてほしいポイントや、特別な意味を持つ曲はありますか？

私のオリジナルのボサノヴァ「Paradise Defined」をぜひ聴いていただきたいです。他のヴォーカリストやインストゥルメンタリストの方々が、自分のレパートリーにこの曲や他のオリジナル作品を取り入れてくれたら、とても嬉しいですね。

♪ 子どもの頃に音楽と出会ったきっかけ、最初に憧れたアーティストを教えてください。

祖母はオルガンを弾き、母はピアノを弾いていました。母は私の学校の教師でもあり、行事やコンサートで伴奏担当していました。両親はラフィというアーティストの子ども向けレコードを買ってくれました。

♪ ジャズに興味を持ったきっかけについて聞かせて下さい。

10代の頃、地元のレンタルビデオ店で古いミュージカル映画を借りて見ていました。その音楽やヴィンテージな雰囲気が好きで、ジャズ演奏のシーンがある作品もありました。高校でいくつかジャズの曲を学び、古い楽譜を読んで、自分は16歳のときコール・ポーターのミュージカルにも出演しました。その仲間たちと一緒に、地元（トロントから3時間の町）のジャズ・カルテットの演奏を聴きに行くようになりました。

♪ 影響を受けたヴォーカリストを3人挙げて下さい。

エラ・フィッツジェラルド、カーメン・マクレエ、サラ・ヴォーン。

♪ ジャンルに関わらず、影響を受けたアルバム3枚を挙げて下さい。

① エラ・フィッツジェラルドのソングブック・シリーズ全作

② カーメン・マクレエのトリビュート・アルバム（ピリー、サラなど）

③ 今作に関連して…ロバータ・ガンバリーニ&ハंक・ジョーンズの『ユー・アー・ゼア』

♪ あなたの母国カナダのジャズ・シーンをどのように捉えていますか？

カナダは国土が非常に広わりに、本格的なジャズクラブは10数軒ほどしかありません。そのうちいくつかは毎晩ジャズを演奏しているわけではなく、他ジャンルの日もあります。それでも、ハイブリッドな会場で定期的にジャズシリーズがあったり、レストランのリスニングルーム、非営利団体や教会のジャズ・ヴェスパーズ、ジャムセッション、独立企画のコンサート、フェスティバルなどが多くあります。私はカナダを東西にツアーしましたが、思いがけない場所で素晴らしい観客に出会いました。しかし地理的な距離の問題で、移動に時間も費用もかかるのが難点です。ケベックシティ以东には専用ジャズクラブがありません。



♪ カナダの“静けさ”は、あなたのジャズにおける“間（ま）”にどう影響していると思いますか？

素晴らしい質問ですね。おそらくそうだと思います。私は静けさや沈黙をととても大切にしています。騒音公害が大嫌いなんです（交通、機械、店舗の大音量の音楽など）。また、ヴォーカルでもインストでも、音楽における“物語性”を重視しています。

♪ ジャズは“自由”の音楽と言われますが、あなたが個人的に自由を感じにくい瞬間はありますか？

最も大きな課題の一つは、観客に“知らない名前前のアーティスト”を聴きに來てもらうことです。多くの小さな会場がチケット分配制になっているため、チケットを売るためにトリビュート企画を求められることがあります。観客が情報過多の時代、わかりやすい企画で興味を持ってもらうのは理解できませんが、アーティストが新しい音楽を発表したり、最善のプログラムを組むことを制限してしまう面もあります。

♪ ヴォーカリストとして最も大切にしていることは？

一つに絞るのは難しく、たくさんの要素で成り立つ“レシピ”のようなものです。例えば…

- 演奏会やスタジオでの良い音響とヴォーカルの扱い
  - 十分な休息とリラックスしつつ集中したエネルギー
  - 熟練し、熱意と感受性のある共演者
  - レパートリーの統一したコンセプトと素材の習熟
  - 熱心な聴衆と、会場やエンジニアとの良い関係
- 日本の素晴らしい点は、多くのクラブが美しく調律されたピアノを備えていることです。

♪ ジャンルを問わず、コラボしたいアーティストはいますか？

オーストラリア系アメリカ人サクソ奏者ニック・ヘンプトンの演奏と作曲をととても尊敬しており、彼の曲に歌詞をつける仕事を増やしています。最初のコラボ曲「Twentieth Century Fox」は現在 Spotify で 75 万回再生され、私の曲で最も人気があります。

♪ 野球は見ますか？ 今年のワールドシリーズでカナダのトロント・ブルージェイズがドジャースと素晴らしい熱戦を繰り広げましたね。

子どもの頃は野球をしていました。私はピッチャーでした。でも今は観戦していません。家族や友人、自分の健康以外では、音楽活動—演奏、マーケティング、事務作業—to エネルギーを注いでいます。

♪ 音楽以外の趣味はありますか？

夫のマグナスと私は 3 人の子ども (17、19、21 歳) と家で暮らしています。ほとんど毎晩一緒に夕食をとりますし、家族旅行も続けています。最近はブリティッシュコロンビア州オカナガン、台湾、メキシコへ行き、今年の夏はベルギーに行く予定です。ハイキングやキノコ採りが好きで、暖かい水で泳ぐのも大好きです。ハバニーズ犬を飼っていて、毎日散歩しています。旅行も好きで、それはツアーミュージシャンの生活と相性が良いですね。

♪ 将来の夢や目標を教えてください。

先ほど挙げた“良いコンサートの条件”を備えた環境で、もっと大きな観客の前で演奏したいです。また、マーケティングや事務仕事の負担を減らして、作曲や練習、新しいアレンジの開発にもっと時間とエネルギーを使えるようになります。

♪ 最後に、「The Walker's」読者とファンにメッセージをお願いします。

世界のジャズコミュニティは、観客の拡大やアーティスト・会場・ラジオ番組・ジャーナリストを継続的に支援する方法など、多くの課題に直面しています。ジャズファンの皆さんのサポートは本当に重要です。裕福である必要はありません。以下のように、実際的な支援の方法があります：

○【声を届ける】：ジャズクラブのイベントやアーティストの新作を SNS で紹介したり、政府に芸術支援や



税優遇、アーティストの渡航補助、簡略化された外国人アーティストの労働許可制度などを求めたりしてください。

○【時間やスキルを使う】：地元のジャズクラブやフェスティバルでボランティアをする。友人を誘って一緒にコンサートへ行くのも良いですね。

○【リソースを活かす】：勤め先の企業に、フェスティバルやコンサートシリーズのスポンサー、ジャズ媒体への広告を提案する。

○【創造的になる】：ツアーミュージシャンに自分のエアビーアンドビーを提供したり、ホテルスポンサーを探したり、遺言にジャズ団体への寄付を含めることもできます。

大切なのは「関わること」です。アイデアがあるなら、アーティストや団体に気軽に提案してください。あなたの情熱、時間、エネルギーが、私たちが愛するジャズを守る力になります。

【アンジェラ・バーブルージュ official website】

<https://angelaverbrugge.com/>



『イン・ザ・ワンダー・オブ・ザ・ナイト』  
アンジェラ・バーブルージュ  
&レイ・ギャロン

2025年10月10日発売  
オリジン・レコーズ

アンジェラの最新アルバム～レイ・ギャロンとの  
極上のヴォーカル&ピアノ・デュオ作品